

# RYOKO FUKASAWA PIANO RECITAL

# 深沢亮子ピアノリサイタル



7:00p.m. Wednesday February 9th, 2011  
at Hamarikyū Asahi Hall

## ベートーヴェンの夕べ 室内楽とソロ

共演

プログラム

ベートーヴェン *L.v. Beethoven*

●ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第5番 へ長調 作品24「春」 (Pf.Vn.)

●6つのバガテル 作品126 (Pf.)

●モーツァルトの「魔笛」の「恋を知る男たちは」の主題による  
7つの変奏曲 変ホ長調 Wo046 (Pf.Vc.)

●ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調 作品11「街の歌」 (Pf.Vn.Vc.)



クリストフ・エーレンフェルナー  
ヴァイオリン  
Christoph Ebreneffner, violin



アダルベルト・スコッチチ  
チェロ  
Adalbert Skocic, cello

# 2011年 2月9日 水 7時開演

## 浜離宮朝日ホール 全自由席 5,000円

電子チケットぴあ | pia.jp/t 0570-02-9999 (Pコード 120-440)  
ローソンチケット | 0570-000-407 (Lコード 32617)  
CNプレイガイド | www.cnplayguide.com 0570-08-9990 (ampm各店)  
東京文化会館チケットサービス | 03-5685-0650  
東京芸術劇場チケットサービス | 03-5985-1707

マネジメント お問い合わせ **Shin En** 新演奏家協会 03-3561-5012 www.shin-en.jp

photo:内山政彦



# 深沢亮子ピアノリサイタル

— ベートーヴェンの夕べ — 室内楽とソロ

7:00p.m. Wednesday February 9th, 2011 at Hamarikyū Asahi Hall

2011年2月9日(水)7時開演 浜離宮朝日ホール

ベートーヴェン *L.v. Beethoven*

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第5番 へ長調 作品24「春」(Pf. Vn.)  
*Sonata für Klavier und Violine Nr.5 F-dur Op.24 'Frühling'*

6つのバガテル 作品126 (Pf.)  
*6 Bagatellen Op.126*

モーツァルトの『魔笛』の「恋を知る男たちは」の主題による  
 7つの変奏曲 変ホ長調 WoO46 (Pf. Vc.)

*7 Variationen über das Thema 'Bei Männern, welche Liebe fühlen' aus der Oper 'Die Zauberflöte' von W.A. Mozart Es-dur WoO46*

ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調 作品11「街の歌」 (Pf. Vn. Vc.)  
*Trio für Klavier, Violine und Violoncello Nr.4 B-dur Op.11 'Gassenhauer'*

深沢 亮子 (ピアノ)  
 Ryouko Fukasawa, piano

千葉県東金市出身。3歳で両親からピアノの手ほどきを受け、10歳で永井進氏に師事。全日本学生音楽コンクール小学校の部で全国第1位、文部大臣賞を受賞。15歳で日本音楽コンクール首位受賞。高校在学中1956年、ウィーン国立音楽大学に入学、G. ヒンターホーファー教授に師事し、首席で卒業。ウィーン楽友協会ブラームス・ザールにおいてデビューリサイタルを開催し、大成功をおさめる。1961年、ジュネーブ国際音楽コンクール2位入賞(1位なし)。以来ムジークフェライン賞金の間やコンツェルトハウスで度々オーケストラとの協演をはじめ、ヨーロッパ、南米、アジア諸国の主要ホールでリサイタルを開催。室内楽では新・旧ウィーン八重奏団、ウィーン室内アンサンブル、ブリュッセル弦楽四重奏団、シュトイデ弦楽四重奏団等と共演。又、オーケストラとの共演では、L.v. マタチッチ、G. ヴァント、大山和慶、朝比奈隆、岩城宏之、小澤征爾、渡邊暁雄他の著名な指揮者の元で、スミス・ロマン管弦楽団、N.Ö. トーンキュンストラ管弦楽団、NHK交響楽団、東京交響楽団を初め国内各オーケストラのソリストとして精力的に活動。更に日本の作品を度々海外へ紹介し、ピアニストとしての国際的な地位を確立。国際コンクールや日本音楽コンクール他の審査員を務めるかたわら、ラジオ、テレビに出演。数多くのレコード、CD、著作、楽譜を出版。後進の指導にもあたり、次代になる若手ピアニストが育っている。

1992年には国際交流基金より音楽文化使節として天満女子史(Vn)とルーマニア、チェコ、スロバキア、ブルガリアへ派遣される。1998年ケルン日本文化会館の招きにより同ホール及びウィーンにてコンサートを行う。2008年9月、デュッセルドルフ、クアアチアのザグレブにて演奏会を行う。国内では毎年東京でリサイタルを開催しているが、特に2003、2004年にはデビュー50周年記念演奏会(東京オペラシティコンサートホール)、2009年5月と11月にはデビュー55周年記念演奏会(紀尾井ホール・浜離宮朝日ホール)を開催、8月に東金文化会館でも行う。また、デビュー50周年記念CD(ナミ・レコード)をリリース。更に2007年、恵藤久美子(ヴァイオリン)、安日謙一郎(チェロ)両氏とのCD「深沢亮子と室内楽の仲間たち」(同)、2009年には、その第2弾(同)をリリース、好評を得る。2011年に新しい室内楽のCDを発売予定。1963年大阪府民劇場奨励賞。1995年千葉県文化功労者。2005年東金市政特別功労者。英国ケンブリッジ国際伝記センター(IBC)により最も優秀な100人の音楽家」の一人に選ばれる。日本音楽舞踊会議代表理事。

クリストフ・エーレンフェルナー (ヴァイオリン)

Christoph Ehrenfellner, violin

1975年ザルツブルク生まれ。ウィーン少年合唱団に在籍した。声楽、ヴァイオリン、室内楽、作曲をザルツブルク・モーツアルテウム音楽院、ウィーン音楽大学、ウィーン・コンセルヴァトリウムで学ぶ。

ウィーン・ジュネスオーケストラ、カンマーフィルハーモニー・アマデー(アーヘン)のコンサートマスターを経て、マラー室内オーケストラで第二ヴァイオリンの第一奏者を務めている。またウィーンフィルハーモニー、ウィーン交響楽団、アンサンブルモデルン(フランクフルト)の交代契約者でもある。

室内楽の分野でも幅広く活動。世界各地で多彩なパートナーたちと演奏し、ザルツブルク音楽祭、ルツェルン音楽祭、ブタベスト・バルトク音楽祭に出演した。

ソリストとしてウィーン楽友協会においてリサイタルデビュー、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲第5番をJuvenil de Caracasオーケストラと協演、Infatil de Caracasオーケストラを指揮した。第一回仙台国際音楽コンクールに招待された唯一のオーストリア人演奏家。作曲活動においては、彼の最初の主要作品である古代ローマ詩人オビディウスの「愛の抒情詩」から題材をとった室内音楽劇がウィーンで大盛況を博した。これに喚起され、彼自身の音楽を演奏するためEnsemble Schifanoiaを結成。

アダルベルト・スコチッチ (チェロ)

Adalbert Skocic, cello

マンハイムで、伝統あるオーストリアの音楽一家に生まれる。6歳より父にピアノの指導を受け、9歳よりチェロを学ぶ。ウィーン国立音楽大学を首席で卒業。1961年ジュネーブ国際コンクールで受賞。64年より85年までウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団奏者を務める。その間、70年より故G.ヘッツェル率いるウィーンフィル室内合奏団のメンバーとして多くのコンサートに出演、またドイツグラモフォンより30枚以上のCDが発売されている(ウィーン・モーツァルト協会賞受賞)。その後はソロ、室内楽、オーケストラとの共演等幅広い活動を行っている。ザルツブルク音楽祭、ウィーン音楽週間をはじめ多くの音楽祭にも招聘され、ピアニストのJ. デームス、E. レオンスカヤ、指揮者のJ. レヴァイン等とも共演。ウィーンコンセルヴァトリウム教授。度々の来日でも、演奏会の他各地でマスタークラスも行い、指導者としても評価が高い。ウィーンフィル奏者との室内楽やウィーン・クラリネット・トリオのメンバーとしても日本でおなじみである。

## 朝日新聞東京本社 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2  
 Tel●03-5541-8710



- 都営大江戸線 築地市場駅A2出口前
- 東京メトロ日比谷線 築地駅1、2出口 徒歩8分
- 都営浅草線・東京メトロ日比谷線 東銀座駅6出口 徒歩7分
- 新橋駅銀座口から都営バス【市①系統】「中央卸売市場行き」  
 又は「朝日新聞循環」で「浜離宮前」または「朝日新聞社前」
- 駐車場は近くの首都高速汐留地下駐車場をご利用下さい。(問合せ03-3542-0341)